

第58回日本東洋心身医学研究会

プログラム

テーマ

東洋医学への動機付け

ハイブリッド開催
(現地+Web)

開催日時

2023年3月11日(土)
13:00~17:15

会場

品川インターシティホール

《オンデマンド配信期間》

3月20日(月)~31日(金)

第58回日本東洋心身医学研究会

会長 端詰 勝敬(東邦大学医学部 心身医学講座)

共催：日本東洋心身医学研究会 / 株式会社ツムラ

©日本東洋心身医学研究会 ホームページアドレス
<https://www.k-kenkyukai.jp/toyoshinshin/>

演者の方へ

一般演題：発表6分 質疑2分
EBM作業チーム報告：10分（質疑含む）
特別講演：50分（質疑含む）
ワークショップ：20分（質疑含む）
ディスカッション20分

単位付与

- * 日本心身医学会認定「心身医療専門医」および認定医の更新（3単位）
 - * 日本心身医学会・日本心療内科学会合同「心療内科専門医」の更新（3単位）
- ※認定更新の方法は、各学会のHPでご確認下さい。

参加登録について

事前参加登録が必要です。

【登録期間】

2023年1月5日（木）～3月11日（土）17:00

上記期間内に、研究会HP内の『参加登録はこちら』からアクセスし、以下の通りお手続き下さい。

①必要事項入力→②カード決済→③登録完了メール受け取り

研究会HP：

<https://www.k-kenkyukai.jp/toyoshinshin/>



決済方法について

お支払いは、クレジットカード決済（JCB、VISA、Master、AMERICAN EXPRESS）のみ可能です。

- ・参加登録後の取り消しはお受けできません。
- ・参加登録費の返金対応はいたしません。
- ・二重登録にご注意願います。
- ・領収書は、マイページでダウンロードできます。

参加費

会員（年会費2,000円、参加費1,000円）
非会員（参加費5,000円）

Web視聴方法

参加登録後に作成されるマイページから、ご視聴をお願いいたします。

学術集会共催事務局

〒107-8521 東京都港区赤坂2-17-11 株式会社ツムラ 学術企画部内
メール：toyoshin@mail.tsumura.co.jp

第58回日本東洋心身医学研究会 タイムスケジュール

	第一会場	第二会場
13:00	開会の辞 (3分)	
13:03	一般演題1 (32分) □演6分+質疑2分 × 4題	一般演題2 (32分) □演6分+質疑2分 × 4題
13:35	休憩 (5分)	
13:40	一般演題3 (32分) □演6分+質疑2分 × 4題	一般演題4 (32分) □演6分+質疑2分 × 4題
14:12	休憩 (8分)	
14:20	理事会報告と授与式 (15分)	
14:35	EBM作業チーム報告 (10分) 座長：岡 孝和 演者：山本 昇伯	
14:45	休憩 (5分)	
14:50	特別講演 (50分) 座長：端詰 勝敬 演者：武田 卓	
15:40	休憩 (10分)	
15:50	ワークショップ (80分) 座長：芦原 睦、木村 容子 演者：上野 孝之、森田 智、伊藤 直樹 登壇者座談会：20分	
17:10	閉会の辞 (5分)	
17:15		

第 58 回日本東洋心身医学研究会 プログラム

◆会期：2023 年 3 月 11 日（土） 13：00～17：15

◆第 58 回会長：端詰 勝敬（東邦大学医学部 心身医学講座）

開会の辞 第 58 回会長 端詰 勝敬（東邦大学医学部 心身医学講座）（13：00～13：03）

■一般演題 1（第一会場）（13：03～13：35）

座長：丸岡 秀一郎（日本大学医学部附属板橋病院 心療内科）

1. 東洋整体療法（推拿療法）と灸療法を用いて気管支喘息合併アレルギー性鼻炎を改善した 1 例

三明整体院

郭 小瓊

2. 頭部外傷後循経感現象を伴い、うつ状態や全身の痛みに、漢方及び鍼灸（頭皮針及び子后流注鍼法）治療により軽快をみた難治性自律神経失調症の 1 例

富士クリニック

藤田 周一郎

3. 聴覚過敏症の 1 例

朋佑会札幌産科婦人科

佐野 敬夫

4. 全身痛を主訴とする女性更年期症候群に対して婦人科との併診（ホルモン療法）にて生薬 / 百合始めとする漢方製剤を中心した処方と認知行動療法（マインドフルネス）の有効症例

寺田鳳実会 寺田クリニック

寺田 壮治

■一般演題 2（第二会場）（13：03～13：35）

座長：河合 啓介（国立国際医療研究センター一国府台病院 心療内科）

1. 漢方薬が奏効した不眠症の 1 例

済生会横浜市南部病院 神経内科¹⁾、小菅医院・横浜朱雀漢方医学センター²⁾

○中江 啓晴¹⁾、草鹿砥 宗隆²⁾、小菅 孝明²⁾

2. 不眠への過度のとらわれにより生じた睡眠障害に酸棗仁湯を用いて奏功した症例

三宿病院 精神科

緒方 克彦

3. 感電事故後の PTSD による心悸亢進、不眠、いらだちに対し、柴胡加竜骨牡蛎湯が奏功した一例

にしだクリニック

西田 慎二

4. 30 代女性の月経関連症候に対して漢方治療を行った 6 症例

札幌白石産科婦人科病院

武田 智幸

■一般演題 3 (第一会場)

(13:40 ~ 14:12)

座長：千々岩 武陽 (はこざき漢方内科・心身医療クリニック)

1. COVID-19 慢性期合併症に対し漢方治療が奏効した一例

岐阜県総合医療センター 産婦人科・東洋医学科

佐藤 泰昌

2. 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 罹患後精神症状に対する漢方薬の使用経験とその可能性

筑波大学 医学医療系 災害・地域精神医学、茨城県立こころの医療センター
筑波メディカルセンター病院 精神科

高橋 晶

3. コロナワクチン接種後生じた口腔不定愁訴

上越総合病院 歯科口腔外科

桑原 徹

4. 適応障害に対し補腎剤が奏功した一例

東邦大学医療センター大森病院 心療内科

國澤 秀木

■一般演題 4 (第二会場)

(13:40～14:12)

座長：奥見 裕邦 (奥見診療所)

1. 消化不良を念頭に処方した平胃散により他の身体症状も軽快した 1 症例

えのもとクリニック¹⁾、センプククリニック²⁾

○福原 慎也¹⁾、榎本 康博¹⁾、千福 貞博²⁾

2. 過敏性腸症候群の下痢に対する半夏瀉心湯の有効性についての検討

大阪医科薬科大学 内科学 II¹⁾、医療法人 むらのクリニック²⁾

○平田 有基¹⁾、村野 実之²⁾、沼 圭次朗¹⁾、川崎 裕香¹⁾、中沢 啓¹⁾、柿本 一城¹⁾

竹内 利寿¹⁾、宮崎 孝子¹⁾、中村 志郎¹⁾、西川 浩樹¹⁾

3. 過敏性腸症候群として治療されていた身体症状症患者に漢方治療を行った一例

北海道大学病院 婦人科¹⁾、手稲溪仁会病院²⁾

○小林 範子¹⁾、藤野 敬史²⁾、渡利 英道¹⁾

4. 過敏性腸症候群に伴う下痢症状に対する半夏瀉心湯の有効性

京都府立医科大学 消化器内科

○吉田 直久、富田 侑里、井上 健、小西 英幸、伊藤 義人

■理事会報告と授与式 (第一会場)

(14:20～14:35)

■ EBM 作業チーム報告 (第一会場)

(14:35～14:45)

座長：岡 孝和 (国際医療福祉大学 心療内科)

眼科における漢方製剤の EBM ～緑内障・ドライアイを中心に～

山本眼科

山本 昇伯

■特別講演 (第一会場)

(14:50～15:40)

座長：端詰 勝敬 (東邦大学医学部 心身医学講座)

”今”こそ女性に漢方を～女性のストレス 3 処方の提案～

近畿大学 東洋医学研究所

武田 卓

■ワークショップ（第一会場）

（15：50～17：10）

座長：芦原 睦（芦原内科・心療内科（中部心身医療研究所））

座長：木村 容子（東京女子医科大学附属東洋医学研究所）

東洋医学への動機付け～日常診療に漢方を取り入れる～

国立病院機構 仙台医療センター

上野 孝之

鍼灸の道を尋ねて～大学病院での研究報告を交えて～

千葉大学大学院医学研究院 和漢診療学

森田 智

ココロに効く漢方薬の薬効メカニズム解明への挑戦

北里大学 東洋医学研究所

伊藤 直樹

閉会の辞 第58回会長 端詰 勝敬（東邦大学医学部 心身医学講座）

（17：10～17：15）

